

2月22日（月）朝礼にて 校長講話

今日は、特別な朝礼という意識で校長先生自身は思っています。なぜ特別かというと、27年度に3学年が揃って、640人が揃って行うことができる最後の朝礼だからです。来週は、卒業式が間近ということで、椅子が並んでいます。体育館が使えない状態で朝礼ができません。もう一度だけ全員が揃う機会があります。それは、3年生を送る会です。3月4日の卒業式当日は、保護者や来賓が多数参加されるため、1年生が入るスペースがありません。2年生が代表として3年生を送ってくれます。そういう意味で特別だということです。

そして、どういう顔で、どういう姿で入ってくるか、見せてもらいました。とてもうれししかったです。何がうれしかったかというと、3年生が、「おれたちは3年生だぞ」という顔をして入ってきてくれました。いつもは、1年生や2年生が早いです。でも、今日は、いち早く3年生が体育館に入って、基準を作ってくれました。そして、この空気をつくってくれました。「弥富中学校の1週間は、この空気始めるんだぞ」というぴりっとした空気をつくってくれました。素晴らしかったです。

そして2年生。先週の生徒会役員選挙。先生は出張で、残念ながら聞くことはできなかったのですが、他の先生から聞くところによると、とても立派な演説で、これからの弥富中学校を背負ってくれる、そんな気持ちがひしひしと伝わってくる演説だったということでした。

そして1年生。今、バスケ部や剣道部の人に賞状を手渡しましたが、1年生も部活動あるいは学校生活の中で結果を残してくれています。

それぞれの学年が、それぞれの学年の意味を理解して、1年間過ごしてくれた、その成果が今朝の朝礼の姿だと思います。あと1か月、自分達の最後の締めくくりをして自信をもって進級し、あるいは進路先へと進んでほしいと思います。